

教科【商業】

単元名 プレゼンテーション

[指導項目] ア プレゼンテーションの技法 イ ビジネスにおけるプレゼンテーション

1 単元目標

(1) プレゼンテーションについて実務に即して理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。 (2) プレゼンテーションに対する要求を分析し、科学的な根拠に基づいて、伝達することが必要な情報を表現し、評価・改善する力を養う。 (3) プレゼンテーションについて自ら学び、適切な情報の伝達に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 単元の評価規準

知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
プレゼンテーション資料の構成、発表のしかたなど基本的な技法を理解している。 プレゼンテーションソフトの特徴や機能を理解し、活用している。	作成したプレゼンテーション資料をもとに、プレゼンターとして聞き手に適切な情報を伝えようと発表方法を工夫し、表現している。	適切な情報の収集・分析を行い、聞き手の興味関心を高めるプレゼンテーション資料の作成や発表準備に粘り強く取り組もうとしている。

3 指導と評価の計画（10時間）

時間	ねらい・学習活動	重点	記録	備考（評価規準・評価方法）
第一次（1時間）	1 プレゼンテーションの技法 プレゼンテーションの意義や基礎的な技法について理解する。 ・プレゼンテーション資料の構成のしかたを確認する。	知		・プレゼンテーション資料の構成、発表のしかたなど基本的な技法を理解している。 ワークシート
第二次（7時間）	2 ビジネスにおけるプレゼンテーション① ・プレゼンテーションソフトの基本機能を身につける。 ・プレゼンテーションソフトの基本的な機能を使ってプレゼンテーション資料を作成する。	知		・プレゼンテーションソフトの特徴や機能を理解し、活用している。 プレゼンテーション作品①
	・提案型プレゼンテーションを通じて、聞き手の購買意欲や興味関心を高めるプレゼンテーションを作成する。 ・プレゼンテーションソフトの基本的な機能を使ってプレゼンテーション資料を作成する。 ・聞き手の知りたい情報は何かを分析、情報の整理、要点をまとめる。 ・インターネットや ChatGPT を用いて必要な情報収集を行う。	主	○	・適切な情報の収集・分析を行い、聞き手の興味関心を高めるプレゼンテーション資料の作成や発表準備に粘り強く取り組もうとしている。 プレゼンテーション作品② 行動観察・ワークシート ※ ChatGPT については、ガイドラインに従って利用している。

第三次 (2時間)	2 ビジネスにおけるプレゼンテーション (発表会)	思	○	<ul style="list-style-type: none"> 作成したプレゼンテーション資料をもとに、プレゼンターとして聞き手に適切な情報を伝えようと発表方法を工夫し、表現している。
	<ul style="list-style-type: none"> プレゼンターとして聞き手の興味関心を高められるよう話し方、アイコンタクト等の工夫を取り入れた発表を実施する。 作成したプレゼンテーション資料をもとに発表する。 			

4 観点別学習状況の評価の進め方

(1) 観点：【主体的に学習に取り組む態度】

ア 評価の進め方

この単元は、プレゼンテーションに関する学習内容である。そのため、プレゼンテーションソフトの基礎的な技術の習得を「知識・技能」、また、テーマに対し、適切な情報の収集および集めた情報をもとにそれを視覚化・言語化し、伝える「思考・判断・表現」を評価する。そして、一連の作品制作と発表において「主体的に学習に取り組む態度」について評価を実施する。

イ 評価の実践事例

「主体的に取り組む態度」の評価には、性格や行動の面の傾向が一時的に表出された場面をとらえることのみで評価を行わず、「知識・技術」や「思考・判断・表現」の観点の状況を踏まえたうえで、評価をすることが望ましいとされている。そのため、①知識及び技術を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた「粘り強い取組を行おうとしている側面」、と②①の粘り強い取組を行う中で、「自らの学習を調整しようとする側面」の2つの側面を評価する。

【評価規準】

①粘り強い取組を行おうとしている側面

評価	a	b	c
状況	十分に満足できる	おおむね満足できる	努力を要する
	本時及びこれまでの学習内容を踏まえ、適切な情報の収集・分析を行い、聞き手の興味関心を高めるプレゼンテーション資料の作成に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	本時及びこれまでの学習内容を踏まえ、適切な情報の収集・分析を行い、聞き手の興味関心を高めるプレゼンテーション資料の作成に主体的に取り組んでいる。	本時及びこれまでの学習内容を踏まえ、適切な情報の収集・分析を行い、聞き手の興味関心を高めるプレゼンテーション資料の作成に取り組めていない。

○「おおむね満足できる」状況 (b 評価)

作品：ワークシートで指定されているプレゼンテーションソフトの機能を3～4種以上使うとともに、画像を取り入れ、情報をまとめることができている。

行動観察：ChatGPT等を活用し、情報収集を行い、自分の意見をまとめることができている。

○「努力を要する」状況 (c 評価)

作品：ワークシートで指定されているプレゼンテーションソフトの機能が2種以下しか使っていない。また、画像が不足し、情報をまとめることができている。

行動観察：ChatGPT等を活用し、情報収集を行い、自分の意見をまとめることができている。

<手だて>

行動観察や机間指導の際に取り組み状況から努力を要すると見込まれる場合、声掛けを行ったり、他の生徒と相談させたりすることで、周囲にサポートしてもらおうとともに個別指導を行っていく。

○「十分に満足できる」状況 (a 評価)

作品：ワークシートで指定されているプレゼンテーションソフトの機能を5種以上使うとともに、画像を取り入れ、情報の要点をまとめることができている。

行動観察：ChatGPT等を活用し、適切な情報収集を行い、自分の意見を端的にまとめることができている。

②自ら学習を調整しようとする側面

評価	a	b	c
状況	十分満足できる	おおむね満足できる	努力を要する
	作成したプレゼンテーション資料をもとに聞き手の興味関心を高めるための発表ができるよう主体的かつ協働的に学習に取り組んでいる。	作成したプレゼンテーション資料をもとに聞き手の興味関心を高めるための発表ができるよう主体的に学習に取り組んでいる。	作成したプレゼンテーション資料をもとに聞き手の興味関心を高めるための発表ができるようには取り組めていない。

○「おおむね満足できる」状況 (b 評価)

発表：作成したプレゼンテーション資料をもとに、リハーサルを各自で行い、発表を通じて自分の意見を伝えることができる。

○「努力を要する」状況 (c 評価)

発表：作成したプレゼンテーション資料をもとに、十分なリハーサルができておらず、発表を通じて自分の意見を伝えることができない。

<手だて>

行動観察や机間指導の際に取り組み状況から努力を要すると見込まれる場合、声掛けを行ったり、他の生徒と練習させたりすることで、周囲にサポートしてもらうとともに、個別指導を行っていく。

○「十分に満足できる」状況 (a 評価)

発表：作成したプレゼンテーション資料をもとに、十分なリハーサルができており、発表の中では話し方やアイコンタクト、ジェスチャーなどを取り入れ自分の意見を工夫して伝えることができる。

ウ 評価の考え方

①粘り強い取り組みを行おうとしている側面	a	B評価	A評価	A評価
	b	B評価	B評価	A評価
	c	C評価	B評価	B評価
		c	b	a
	②自ら学習を調整しようとする側面			

日頃、伝えたいことを上手く言語化できない生徒も、ChatGPT を活用することで、要点をまとめて説明する方法を学ぶことができた。また、生徒から、テーマとして取り上げた商品や企業について調べていく中、新たな発見やものの見方が変わったという意見があり、探究的な学習活動に繋がられた点が良かった。一方で、機械操作が苦手な生徒への手立てが必要であった。「おおむね満足できる」状況へ全員が到達するためには周囲と協力した学びを継続して指導するとともに行動観察を通じて生徒の取り組み状況を適切に把握する必要性を再確認した。